

文部科学省EDU-Portニッポン調査研究「非認知能力の育成に向けた
特別活動の国際化と質保証に関する研究」報告会

2025年2月1日（土）

於：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟310

エジプトにおけるTokkatsuの現状と 本調査研究の枠組み

京免 徹雄（筑波大学）



1. 本調査研究の背景と目的

本調査研究の背景

Q:なぜ、特別活動は海外から注目されているか？

ワウズアップ現代 放送記録 キーワード一覧 放送予定 見逃し配信

全記録 since1993

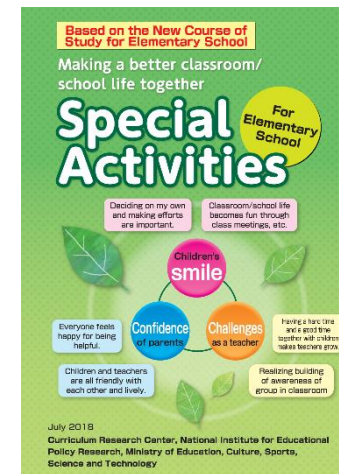


2023年12月6日(水)

世界が注目!日本の教育「TOKKATSU」特別活動の意義は?

いま世界で、学級会や日直など日本式教育「特別活動(TOKKATSU)」に熱い視線が注がれています。「アラブの春」以降、混乱が続くエジプトでは大統領肝いりの政策として全国で導入され、子どもたちに革命的な変化が起きたと評されています。その効果とは?一方の日本ではいま特別活動が曲がり角を迎えています。働き方改革などから活動が削減されているのです。世界を股に掛けた取材から子どもにとって大切な教育とは何か考えました。

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4854/>



学校の掃除・給食 礼儀養う 「特活」世界が注目

79カ国から視察昨年度

「特活」は、先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。

日本型教育「輸出」の機運

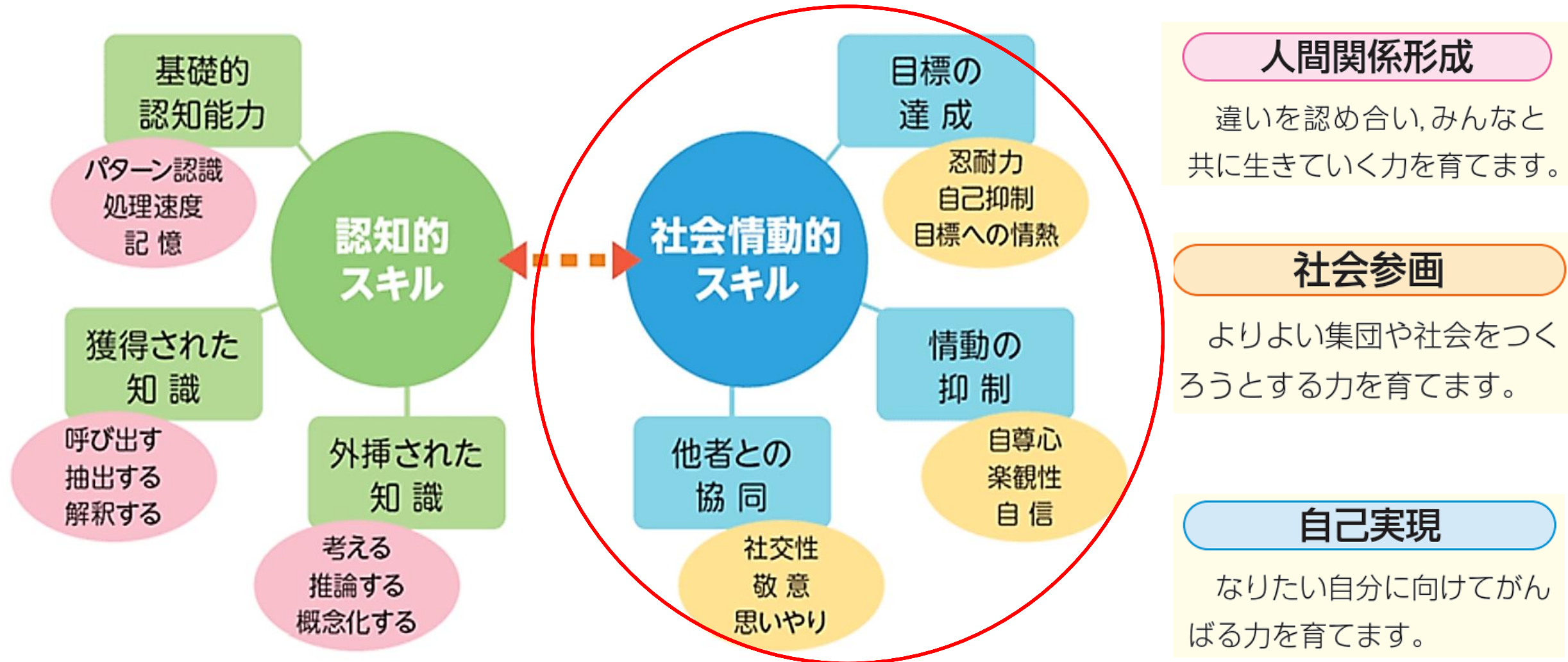
「特活」を海外へ輸出する機運が生まれている。先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。

日本型で視察

視察したエジプトの元教育大臣が、日本の特別活動について興味を示している。先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。先生が教えるのではなく、子どもたちが主体的に活動する。

本調査研究の目的

A: 自治的活動が非認知的スキルの育成に有効とみなされたから



本調査研究の背景

□個人と社会のウェルビーイングの両立（第4期教育振興基本計画）



● 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

● 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

本調査研究の背景

□ Tokkatsuの特徴 (Tsuneyoshi, 2019)

- ・ 為すことによって学ぶ
- ・ 児童による主体的な活動
- ・ 内的・自発的動機づけによる行動
- ・ 協調学習
- ・ 教科科目との統合
- ・ 協働的な問題解決
- ・ 平等主義
- ・ 生活に対する教育

□ 国際的にみた課題

(京免, 2019, 2022; kyomen, 2022)

- ・ 多様性と創造性の不足
- ・ 同調圧力 (個の抑圧)
- ・ 教師による価値誘導
- ・ 変革ではなく適応志向
- ・ 画一化された集団活動
- ・ 統制・秩序維持を優先
- ・ 諸刃の剣

本調査研究の背景

□日本型教育の海外展開の研究課題（『教育学研究』第86巻4号）

- ・国際的にみた日本の教育の特質解明
- ・海外展開の方法や相手国に与える効果・影響
- ・海外展開が望ましいかどうかという倫理



□国際性と倫理性を備えたTokkatsuである必要性

- ・自己の動揺や否定性を伴う発信・省察（橋本，2019）
- ・越境経験を通じた双方向の学び（高山・興津，2024）
- ・現地主義アプローチ（樋口，2021）

本調査研究の目的

- ・エジプトの小学校で導入・実施されている特別活動（Tokkatsu）の現地化の実態を定性的に調査し、個人と社会のウェルビーイングを支える要素ともいわれる非認知能力に与える影響を明らかにする。
- ・エジプトとの双方向の学び合いを通して、国際的通用性と倫理性を備えた国際モデルTokkatsuを開発する。
- ・エジプトで実施中のODA事業と相乗効果を発揮するとともに、カイロ日本人学校の協力を得て、人的ネットワークを強化する。
- ・調査結果を国内に還元し、日本の教育の国際化につなげるとともに、グローバルサウスの国々の教育改善に貢献できる知見を創出する。

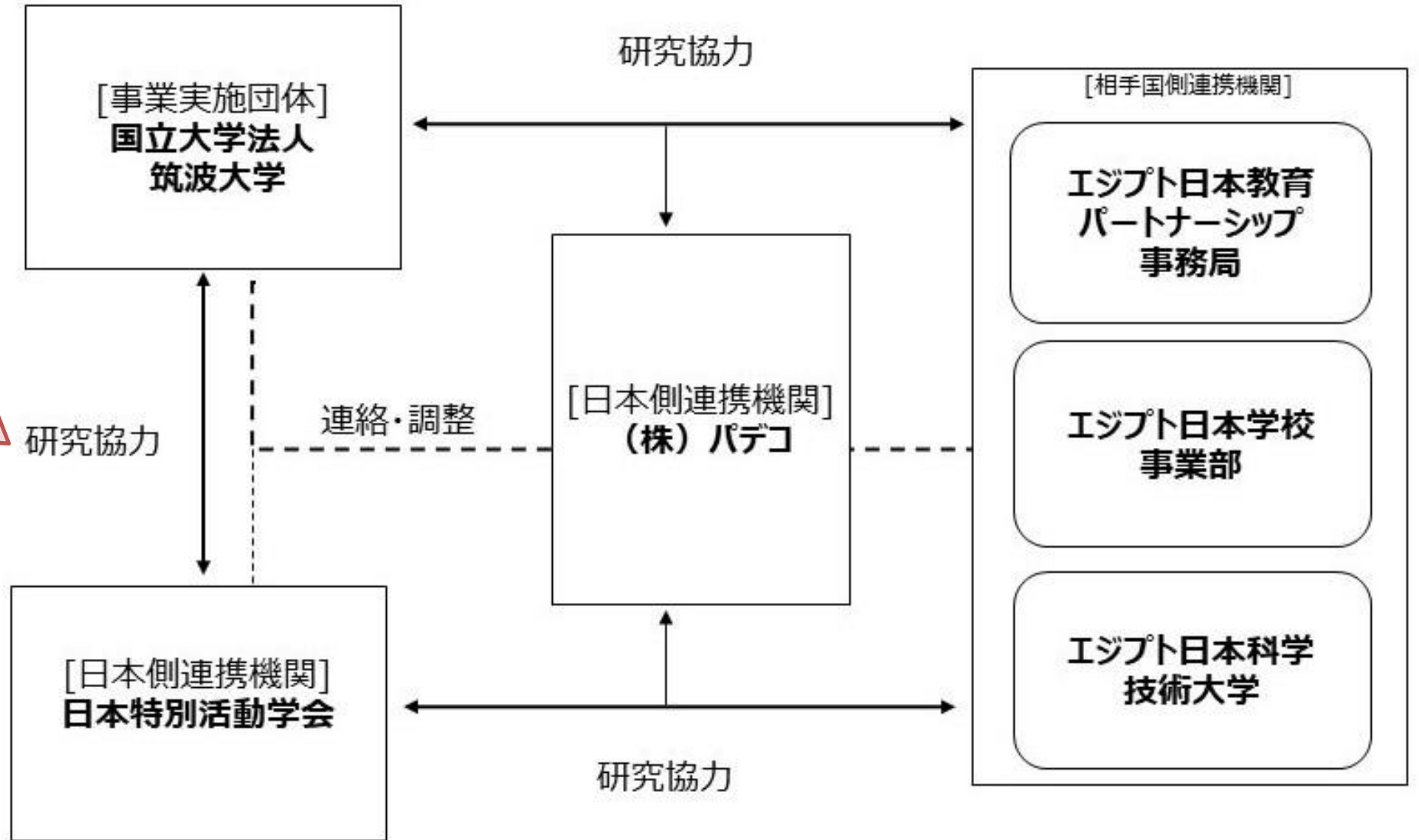
本調査研究の目的

- ・事業名：「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究～日本型教育先進地エジプトにおけるTokkatsuの効果検証～」
- ・筑波大学を代表機関として、文部科学省EDU-Portニッポン「令和5年度予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究」に応募し、採択された。
- ・研究期間：2023年8月～2025年2月（1年半）
- ・2回の現地調査：2023年12月23日～31日（8日間）
2024年12月20日～28日（8日間）



本調査研究の目的

**日本側
研究チーム**
研究者・実践者・国際開発関係者32名で構成



2. エジプトにおけるTokkatsu の現状

Tokkatsu導入の経緯

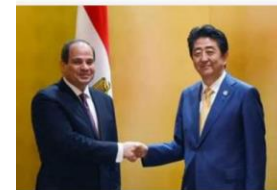
□エジプト・日本教育パートナーシップ



エジプト日本教育パートナーシップ (EJEP)

- 2016年 エルシーシ大統領の日本訪問で発表
- 文化的・宗教的多様性に対する寛容や規律、公共心の育成に対するニーズ

(kyomen, 2025)



2. エジプトでの日本式教育の導入

エジプト政府は、学校での諸活動や学校運営を始めとした日本式教育の要素を特別活動(特活)などの日本の経験やノウハウに基づいてエジプトで導入する。

3. エジプトにおける「特活」の推進

特別活動(特活)は、社会的、情緒的、感情的、身体的及び知的側面からバランスのとれた子供の発達を目的とした日本式教育課程の基本的構成要素であり、生徒間の積極的な学び合いを促進するため、文化やスポーツ関連の学校行事や学級における教師と子供たちとの双方向の話し合い等の活動を通じて行われるものである。…エジプト政府からの要請に対し、日本政府はエジプトの学校において「特活」を推進していく。

Tokkatsu導入の経緯

□JICAプロジェクトの展開

- ・2017年「学びの質向上のための環境整備」
 - 2018年 エジプト日本学校 (EJS) 35校の開校:小学校+幼稚園(年中・年長)
 - 『Tokkatsu教師用ガイドブック』などの参考資料の開発
 - 質保証に向けた授業研究(レッスンスタディ)の導入
 - Tokkatsu Officer (TO) によるルーブリックを用いたモニタリング
- ・2021年「特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及」
 - 優秀なTOを認証するTokkatsu研修・認証制度 (TTCS) の導入
 - 2023年12月現在、EJS51校で約11,700人が学ぶ
 - 2024年 EJS4校追加(計55校)、9月から中学校1年生が進学



新カリキュラム “Education 2.0”

□コンピテンシー・ベースのナショナル・カリキュラム(2018年)

・14のライフスキルの育成

・レバレッジ・ポイントとしてのTokkatsu(週1コマ)

—学習態度の改善

—認知学習の深化

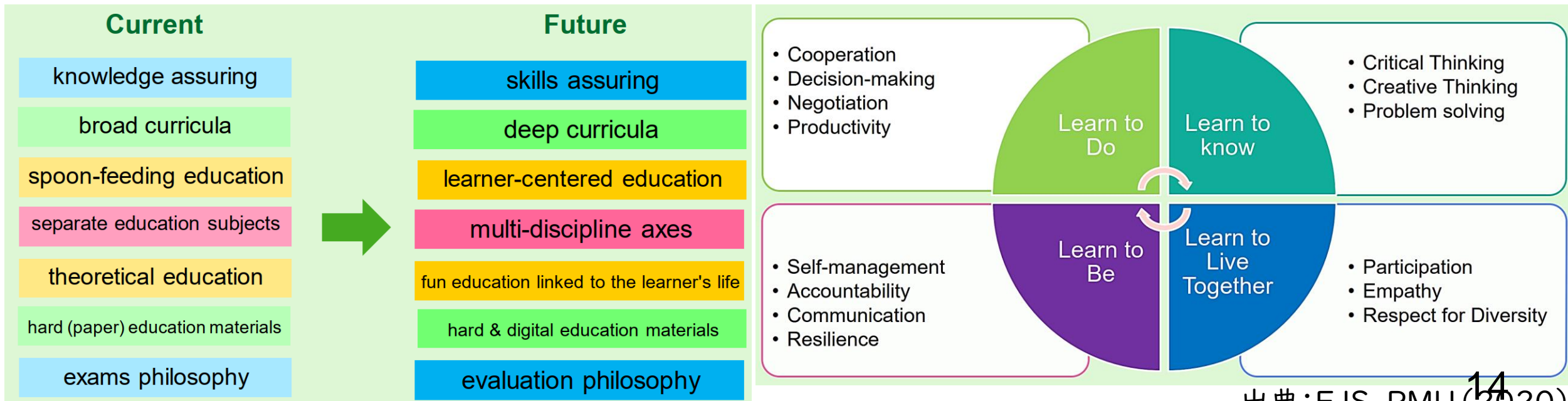
—互恵的な人間関係

—協働的な授業環境

—教師の協力体制の確立

—評価の哲学

など



Tokkatsuの実践

パイオニアスクール **12校**



学級会

学級指導

エジプト日本学校 (EJS) **55校**



日直

全国の学校 **約2万校**



係・当番

掃除



07:30-07:50	★教員の朝の準備
07:50	児童登校時間
07:50-08:00	朝集会
08:00-08:10	★朝自習
08:10-08:20	★朝の会
08:20-09:40	1・2 時間目
09:40-11:00	3・4時間目
11:00-11:45	休み時間(軽食を兼ねる) ★掃除
11:45-13:05	5・6時間目★5時間目 特別活動
13:05-14:25	7・8時間目
14:20-15:05	9時間目
	幼稚園では13:40 -14:50に ★遊びを通じた学び
15:05-15:15	★帰りの会
15:15	児童の下校
15:15-15:30	★保護者のボランティアによる 不定期の課外活動
	★職員会議、校内研修、授業準備

Tokkatsuの実践

□EJSの環境とTokkatsuの時間数

・小学校

- 1学級の標準児童数36名
- 教科担任制、2名体制で授業実施
- 学級活動・学級指導:週1コマ
- 児童会活動:月2コマ(高学年)

・中学校(現在は1年生のみ)

- 学級活動・学級指導:週1コマ
- 将来キャリア形成活動:週1コマ
- 市民社会形成活動:週1コマ

あるEJSの1日 ※学校や学年によって時間割は異なる
<https://www.jica.go.jp/oda/project/1904486/news/newsletter.html>

3. 本調査研究の枠組み

5つのプロジェクト

□プロジェクトI 小学校における非認知能力育成の効果検証

・学級会の分析

—エジプト日本学校 (EJS) における学級会の場面、およびその前後の児童の姿から、非認知能力の発揮・獲得の場面を捉える。

—音声データを文字起こしして、教育方法学の方法論に基づき授業分析を行う。特に合意形成の場面を可視化することで、非認知能力との関係を考察する。

・モスト・シグニフカント・チェンジ (MSC) による参加型評価

—学校教員、保護者等を対象とするワークショップを開催し、児童等の変化で最も大きい要素について議論する。



5つのプロジェクト

□プロジェクト2 Tokkatsuの受容と現地化プロセスの解明

- EJSと公立学校（パイオニア校・既存校）で、教師・児童・TOに対してTokkatsuに対する認識をインタビュー調査する。
- 導入・普及にあたっての促進・阻害要因、児童や教師の変化を明らかにする。

□プロジェクト3 持続性強化に向けた質保証制度の共同開発

- Tokkatsuディプロマ・プログラムの内容についてエジプトと協議する。
- Tokkatsu研修・認証制度（TTCS）を改善し、現地化する
- 実践者・研究者が互恵的・継続的に学び合う「草の根交流」モデルの構築に向けた手がかりを得る。



5つのプロジェクト

□プロジェクト4 日本人学校と現地校の協働のモデル化

- カイロ日本人学校（CJS）とエジプト日本学校（EJS）との間で、小学校教師の交流活動（合同授業研究）を企画・実践する。
- 授業研究およびインタビューのデータを分析し、日本型教育の発展に向けた日本人学校と現地校との協力体制をモデル化する。

□プロジェクト5 エジプトに学ぶ日本の学級会の授業改善

- エジプト調査の分析結果に基づいて日本の学級会を見直し、新たなスタイルで研究授業を行い、発話記録および児童への事後インタビューを分析する。



本報告会の進行

13:20~13:40

ミニ講演「エジプトのTokkatsuは日本の学校教育に何を投げかけているか？」
安部恭子

13:40~14:00

報告1「エジプトにおけるTokkatsuの受容とその影響—インタビュー調査から—」
田中光晴 添田晴雄 相庭貴行

14:00~14:20

報告2「エジプト日本学校におけるTokkatsuの特徴と非認知能力との関係—学
級会と参加型評価の分析から—」 山田真紀 平田幸男 土屋 愛

14:20~14:30 質疑応答

14:40~15:00

報告3「Tokkatsuの持続性強化に向けた質保証制度の共同開発」
瀬戸口暢浩 Safaa Nour（オンライン報告）

本報告会の進行

15:00~15:20

報告4「日本型教育の発展に向けた日本人学校と現地校との協力体制のモデル化」
天野幸輔 鈴木純一郎 原 圭吾

15:20~15:35

報告5「エジプトのTokkatsuから学んだことを生かした日本の学級会の授業改善」
小泉琢磨 林 尚示

15:35~15:50

報告6「2024年度のエジプト現地調査報告」 平野 修 清水克博

15:50~15:55 質疑応答

15:55~16:10

エジプトからのメッセージ「本研究から何を受け取り、日本に何を伝えたいか」
Mohamed Abdelmeguid Safaa Nour (オンライン報告)

16:10~16:30 全体討論「Tokkatsuのさらなる国際化に向けて」

「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」ウェブサイト



EDU-Portニッポン「特別活動の国際化と質保証に関する研究」
Study on internationalization and quality assurance of Tokkatsu

お問い合わせ [Contact](#)

ホーム
Home

研究テーマ
Research

活動報告・研究成果
Report and Achievements

メンバー・体制
Member

イベント
Event

関連情報
Resource



EDU-Portニッポン

「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」

EDU-Port Japan

“Study on internationalization and quality assurance of Tokkatsu aimed at fostering non-cognitive skills”



ご清聴ありがとうございました。

謝辞：本研究は、令和5年度 文部科学省「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）」調査研究「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」の助成を受けた。

謝辞：本研究は、日本特別活動学会2023年度重点課題プロジェクト「グローバル・スタンダードとしての日本型教育モデルの開発—Tokkatsuの海外展開の分析—」および「エジプト国における特別活動等のディプロマの研究」の助成を受けた。

謝辞：本研究の実施にあたって、(独)国際協協力構およびエジプト教育・技術教育省(MOETE)から、「エジプト国『学びの質向上のための環境整備プロジェクト』」および「特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト」のデータの提供を受けた。

付記：本研究は、筑波大学人間系研究倫理委員会の承認（課題番号：筑2023-188A号、筑2023-189A号、筑2023-190A号）を得て、実施した。

参考文献

- 橋本憲幸 (2019) 「国際教育開発論の思想課題と批判様式—文化帝国主義と新自由主義の理論的超克—」『教育学研究』第86巻第4号、461-472頁。
- 樋口謙一郎 (2021) 「対外言語普及と「現地主義」アプローチ」立教大学アジア地域研究所『なじまあ』第11号、11-12頁。
- 京免徹雄 (2021) 「アメリカ人研究者からみた日本の特別活動の特質—日本型教育モデルの発信を視野に入れて—」『日本特別活動学会紀要』第29号、41-50頁。
- 京免徹雄 (2022) 海外の研究者からみたTokkatsuの機能とメカニズム—学校のエスノグラフィで特別活動はどう描かれてきたか—」『筑波大学 教育学系論集』47巻1号、1-14頁。
- Kyomen, T. (2022) Agency Development to Promote Global Citizenship via Tokkatsu: How Student Councils Can Alter School Rules. *Journal of Southeast Asian Education*, 2021 Issue(1), pp.9-22.
- Kyomen, T. (2025) Tokkatsu: Reality, significance, and challenges in global contexts. Ida, Y et al. (Eds.) *Human Diversity and Educational Equity in Japan - Well-being in the Human Sciences Landscape*, Springer Nature: Singapore, 印刷中。
- EJS-PMU (2020) 『EDU2.0に基づくTokkatsu実践ハンドブック』
- 高山敬太・興津妙子 (2024) 『「教育輸出」を問う』明石書店。
- Tsuneyoshi, R. (2019) The tokkatsu framework: The Japanese model of holistic education. In Tsuneyoshi, R., Sugita, H., Kusanagi, K., & Takahashi, F. (Eds.) *Tokkatsu: The Japanese educational model of holistic education*. Singapore: World Scientific, pp.3-35. 25

参考：これまでの研究成果

- World Association of Lesson Study International Conference 2024, Kazakhstan
Nobuhiro Setoguchi. Igniting collaborative spirit among students and teachers through Tokkatsu and Lesson Study (A case of Egypt) . In Symposiums “Developing children’s qualities necessary for successful Lesson Study: the Japanese holistic model of Tokkatsu.”
Tetsuo Kyomen. The Relationship between Social-Emotional Learning and Lesson Study from the Teacher’s Perspective: Tokkatsu in Egypt and Japan. In Workshop “Realizing holistic education through lesson study and Tokkatsu.”
- 日本特別活動学会第33回つくば大会 自由研究発表(2024年9月)
平田幸男・山田真紀・添田晴雄・天野幸輔・京免徹雄「エジプトにおけるTokkatsuの導入がもたらした子ども・教師・学校の変化—教師・TokkatsuOfficer・保護者の参加によるMSC研修
小泉琢磨・山田真紀・土屋愛・京免徹雄「エジプト日本学校(EJS)における学級会の特徴(1)—児童・教師の発言から見る変化—」
山田真紀・小泉琢磨・土屋愛・京免徹雄「エジプト日本学校(EJS)における学級会の特徴(2)—シーケンス分析に基づく経年変化—」
石井雄大・山田真紀・清水克博・林尚示・安部恭子「エジプト日本学校(EJS)における学級会の特徴(3)—事後インタビューからみる教師と児童の認識の違い—」

参考：これまでの研究成果

- 添田晴雄・相庭貴行・土屋愛・安部恭子・秋山麗子「エジプト日本学校(EJS)におけるTokkatsuの受容とその影響—EJS教員対象インタビューの分析から—」
- 平野修・土屋愛・日野陽平・小泉琢磨・山田真紀「エジプトのTOKKATSUは子どもの成長をどう変えたのか～児童インタビューから～」
- 田中光晴・京免徹雄・樋口耕平・橋谷由紀「エジプトにおけるTokkatsuの普及に果たすTokkatsu Officerの役割」
- 天野幸輔・鈴木純一郎・山田真紀・平田幸男「Tokkatsuの共同授業研究による日本人学校と現地校の協力体制の構築の試みと検討—カイロ日本人学校とエジプト日本型学校における学級活動(1)および(2)の実践的研究からの報告—」
- ・日本特別活動学会第33回つくば大会 課題研究(2024年9月)
 - 杉田洋「エジプトに導入された日本型教育とTokkatsu」
 - 平野修・小泉琢磨・土屋愛「エジプトの子どもからみたTokkatsu—日本での実践と比較しながら—」
 - 相庭貴行・添田晴雄・林尚示・山田真紀「エジプトのTokkatsu実践からみえた日本の特別活動への示唆」
 - ・一般社団法人参加型評価センター主催「気付きと対話によるMSC評価フォーラム～国際教育協力(Tokkatsu)やアジア地域保健・開発事業による変化から学ぶ～」(2024年8月)
 - 平田幸男「エジプトにおけるTokkatsu導入のMSC評価～エジプト特活教育におけるMSC評価事例～」

参考：これまでの研究成果

- ・全国海外子女教育国際理解教育研究協議会第51回鳥取大会(2024年8月)
天野幸輔・鈴木純一郎「日本型教育の発展に向けた日本人学校と現地校との協力体制のモデル化に向けて—エジプトにおける特別活動(Tokkatsu)の展開を手掛かりに—」
- ・日本比較教育学会第60回大会(2024年6月)
京免徹雄・田中光晴・添田晴雄「エジプトにおける非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証」
- ・令和5年度EDU-Port シンポジウム「今後の国際教育協力への期待」(2024年3月)
京免徹雄・杉田洋・山田真紀・天野幸輔「エジプトにおける非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証」
京免徹雄・相庭貴行・平田幸男・天野幸輔「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究～日本型教育先進地エジプトにおけるTokkatsuの効果検証～【エジプト】」
- ・日本特別活動学会 2023年度第8回 特活カフェ(2024年1月)
京免徹雄・小泉琢磨・平田幸男・鈴木純一郎・天野幸輔・平野修・添田晴雄・相庭貴行「グローバル・スタンダードとしての日本型教育モデルの開発—Tokkatsuの海外展開の分析—」
杉田洋・瀬戸口暢浩「エジプト国における特別活動等のデイプロマの研究」